

NEJM 勉強会 Case 28-2016 : A 31-Year-Old Woman with Infertility

A プリント

2016年10月27日 中安杏奈

【主訴】不妊

【現病歴】健康には問題ないが1年半前から不妊に悩まされ、他院で9ヶ月前から不妊治療を受けている。他院にて各種原因探索の検査を行ったのち、体外受精を2サイクル行い、それぞれのサイクルで2個ずつの胚が移植されたが、妊娠に結びつくものはなく、当院に紹介受診となった。

【妊娠出産歴】初潮 12歳、整、32日周期、5日間。LMPは24日前。

【既往歴】STD(-) アレルギー(-) 摂食障害歴(-)

【社会歴】ネパールで生まれ育ち、当院来院の4ヶ月前にも一時帰国している。そのあとインドに3年間住んでおり、5年前にアメリカ西南部に移住して、最近東海岸に引っ越してきた。結婚歴6年。ジエチルスチルベストロール（流産防止材などに用いられていた合成女性ホルモンで、胎児期に暴露されると子宮形成不全など女性期障害が発生する（Wikipedia））の暴露なし。機会飲酒。喫煙・違法ドラッグ使用歴なし。運動習慣あり。食生活は良好。BCG予防接種歴あり。

【服薬歴】マルチビタミン

【家族歴】父：高血圧、祖父：大腸癌、祖母：糖尿病

【入院時現症】

BP 110/70 mmHg、BH 151cm、BW 49.5kg、BMI 21.7

<L/D> 血算、ヘモグロビン分画、

<感染症> 麻疹・風疹 IgG 抗体(+)、HIV、HCV、梅毒、HBV 抗原(-)

<血液型> A, RhD(-)、不規則抗体(-)

<膣細胞診> 正常（13ヶ月前）

▶不妊の原因の鑑別は？

▶原因を確定させるために必要な検査は？